

自分にできることを見つけ、実行に移せる生徒の育成

所属	名古屋市立北高等学校	実践者	安藤 理恵
対象	高校 1 年生	時間数	10時間
場所	LL 教室・国際ホール	実践教科	英語
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・パラグアイの文化を知り、自分の生活と比較する。 ・パラグアイで日系社会について知り、自国を振り返る ・パラグアイにおける日本人の活躍を知り、自分にできることを考える。 		
実践内容	回	プログラム	備考
	1	パラグアイについて知りたいことを考えよう。 ・パラグアイの中学生に質問レターを作成	PG・A4用紙ペン・カメラ
	2-3	パラグアイと肯定的に出会おう。 ・パラグアイの地理・文化を知る。(フォトランゲージ) ・パラグアイの高校生とメッセージで出会う。(フォトランゲージ) ・振り返り(マゴリス ウィール)	パワーポイント 写真(パラグアイボックス)
	4	共通点・相違点から、学ぼう。 ・パラグアイの発電について知ろう(フォトランゲージ) ・パラグアイの家庭について知ろう(フォトランゲージ) ・対比させてみよう。(対比表)	教師海外研修写真 ホームステイ体験報告 模造紙・ペン
	5-6	パラグアイで活躍する日本人に出会おう。 ・JICA 青年海外協力隊員の話から、国際貢献について考える。(ビデオ) (まとめポスター作成・共有) ・パラグアイの起業家から学ぶ。(資料回し読み・共有) ・振り返り(マゴリス ウィール)	インタビューVTR 模造紙 ペン JICA 中部 2016 教師 海外研修資料
	7	世界に存在する日系社会について知ろう。 ・なぜ、海外へ移住したのか？(歴史) (資料の回し読み・共有) ・海外移住とはどのようなものであるのか？(資料の回し読み・KJ 法) ・日本のために、パラグアイのために、パラグアイで生きていくということ ・日本文化を大切にするとはい、どういうことか考える。(意見交換)	同上資料 パラグアイ日本人会 連合会資料「パラグ アイにおける日系人 移住の歴史」
	8-10	日本で、海外で自分にできることについて考えよう。 ・異文化理解、多文化共生に必要なことは何だろうか？(リスト) ・日本を紹介しよう。(交流会でのワークショップ)	模造紙 ペン
成果	生徒間の他者理解が深まり、それが肯定的な異文化理解へつながった。生徒達の自己肯定感が高まり、現在、自分にできることを実行に移す生徒が、複数海外ボランティア留学等を希望し応募している。		
課題	時間をゆっくりとって、ひとつひとつのタスクを深く掘り下げたい。		
備考	国際理解コースでは週に1時間、ファシリテーションを利用した国際理解教育を実施し、この他にもNPO(ICAN)とのTV電話での現地交流・JICA訪問・外務省高校講座等、実施している。		

[授業実践の詳細]

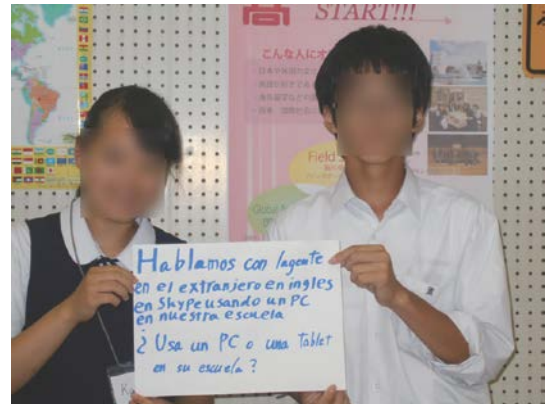
1 時限目「まだ見ぬパラグアイにいる中学生への質問レター。」

この時限のねらい

- ・パラグアイについての興味を抱かせ、同世代の生徒に質問レターを作成することで、パラグアイを想像してみる。

1 子どもの活動の流れ

- ① パラグアイについて聞きたいことを考える。【KJ法】
- ② 質問を選び、質問を英語とスペイン語に訳してカードを作成する。
- ③ カードを持って生徒の写真を撮影する。(教師がカードと写真を現地へ運ぶ。)



2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ パラグアイについて全く知識がないが、学びに対しての興味は高い。
- ◇ 初めてスペイン語にふれ、異文化を感じた。
- ◇ 同世代の生徒がどのような反応をしてくれるか、とても関心が高い。

3 使用した教材

<教材1> パソコン A4用紙 ペン カメラ

2-3 時限目「パラグアイと肯定的に出会おう。」

この時限のねらい

- ・パラグアイの地理・文化・生活を知る。
- ・パラグアイの生徒からのメッセージから現地の生活を知る。

1 子どもの活動の流れ

- ① パラグアイの地理・文化・生活を知る。【パワーポイント フォトランゲージ】
- ② パラグアイの製品に触れる。【パラグアイBOX】
- ③ パラグアイの生徒からのメッセージを受け取る。
- ④ パラグアイの食べ物・飲み物を試食・試飲する。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ パラグアイにある日本に驚き、パラグアイを身近に感じた。
- ◇ 直接製品に触れることで、写真以上にパラグアイを体感した。
- ◇ パラグアイの生徒との共通点を見つけ、肯定的な異文化理解をすることができた。
- ◇ 異なる文化の食べ物・飲み物にも肯定的に出会えた。



3 使用した教材

- <教材2> パラグアイを紹介したパワーポイント
- <教材3> パラグアイの写真(2016 教師海外研修より)
- <教材4> パラグアイBOX
- <教材5> 手作りチパ 手作りチパグアス マテ茶

4 時限目「共通点・相違点から学ぼう。」

この時限のねらい

- ・パラグアイと日本の共通点。相違点を知ろう。
- ・パラグアイの発電方法・パラグアイの家庭について。

1 子どもの活動の流れ

- ① パラグアイの発電のフォトランゲージを見る。
- ② パラグアイの家庭の様子フォトランゲージと教師海外研修のホームステイの体験報告を聞く。
- ③ 日本との共通点・相違点を上げる。【対比表】

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ フォトランゲージから感想を述べあう。
- ◇ 各自で共通点・相違点を書き出し、その後共有。

3 使用した教材

- <教材6> パラグアイの写真(2016 教師海外研修より)
- <教材7> 模造紙 ペン

5-6 時限目「パラグアイで活躍する日本人に出会おう。」

この時限のねらい

- ・青年海外協力隊員の話から国際貢献について考える。
- ・パラグアイの起業家から学ぶ。

1 子どもの活動の流れ

- ① 青年海外協力隊員のインタビュービデオを鑑賞する。
- ② インタビューの内容をまとめる。
- ③ インタビューから学んだ感想をポスターにまとめ、発表する。
- ④ 白沢商工についての資料を読む。



2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 自分にも、世界でできることがあるということを認識した。
- ◇ できることはたくさんある。自己肯定感が高まり、その先に何をできるか具体的に考えられるようになった。
- ◇ 日本人の活躍を知り、日本や日本人をととても誇らしく感じるようになった。

3 使用した教材

- <教材9> インタビュービデオ(2016 教師海外研修ビデオ)
- <教材10> 白沢商工資料 (2016JICA 教師海外研修資料)
- <教材11> 模造紙 ペン

7 時限目「世界に存在する日系社会について知ろう。」**この時限のねらい**

- ・海外移住の歴史・日本人社会について知る。
- ・自国の文化を大切にしながら、日本やパラグアイのために海外で生活していくことを熟慮する。

1 子どもの活動の流れ

- ① 海外移住の歴史・日本人社会の資料を読む。
- ② なぜ移住したのかを考える。
- ③ 海外移住とはどのようなものであるか考える。
- ④ 日本のため、パラグアイのために、パラグアイで生きていくということについて考える。
- ⑤ 日本文化を大切にするとかどうということかを考える。

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ パラグアイにおける日系人の苦労の歴史を知り、共感する。
- ◇ 海外で暮らすことを考えていく中で、日本に住む外国人についても同様なことが言えることに気づいた。

3 使用した教材

- <教材12> JICA 中部教師海外研修資料
- <教材13> パラグアイ日本人会連合会資料「パラグアイにおける日系人移住の歴史」
- <教材14> 模造紙 ペン

8-10 時限目「日本で海外で自分にできることを考えよう。」**この時限のねらい**

- ・多文化共生・異文化理解において必要なことは何か考える。

1 子どもの活動の流れ

- ① 多文化共生・異文化理解に必要なことを書きだす。【KJ 法】
- ② 日本の文化を紹介するワークショップを企画する。
- ③ ワークショップの実践

2 子どもの活動の成果・反応

- ◇ 多文化共生には異文化を肯定的に知ることが重要であると気づく。
- ◇ 異文化を知るために、まず日本の文化を知り、伝える力を身に着けることが大切であることを認識する。
- ◇ 異文化交流会で、お互いを尊重しながら交流ができた。

3 使用した教材

<教材15> 模造紙 付箋 ペン

■ 全体を通して

1 授業の様子



<パラグアイボックス鑑賞・パラグアイ料理試食会の様子>



<交流会の様子(インドネシア交流 本校独自プログラム)>



<交流会の様子(Jenesys 2.0 中国交流)>

2 参考文献・資料

- 1) JICA 中部 教師海外研修資料
- 2) パラグアイ日本人会連合会資料『パラグアイにおける日系人移住の歴史』